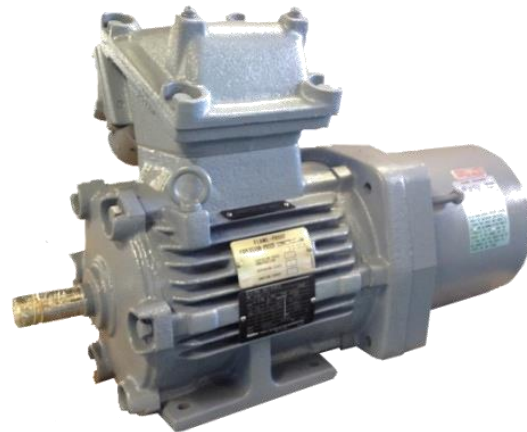


耐圧クイックブレーキモータ

当社は、防爆形電動機の製作に関して、最も豊富な経験と実績を持ち、広く産業の発展に貢献しています。

この多年の経験と国際寸法ならびに耐熱クラスE, Bを合理的に取り入れた防爆形モータシリーズに、制動機構をコンパクトに内蔵した耐圧防爆形クイックブレーキモータを製作しています。

可燃性ガスや蒸気を取り扱う事業所では、高性能で極めて安全度が高い耐圧防爆形クイックブレーキモータをご活用ください。



全閉・耐圧防爆形（脚取付形）

特長

●増力装置のない簡単な構造

操作電磁石は、三相交流のショートストローク式で、可動鉄心が直接ブレーキ円板に制動力を加える機構のため、増力装置などがなく簡単な構造になっています。

●ブレーキ部の点検・調整が簡単

ブレーキカバーを外すだけで、内部の点検、ブレーキ板の調整が簡単に行えます。

●ブレーキ板のつれ回りがないので高信頼性

ブレーキ円板は、フローとばねで浮かしているため、制動時以外しゅう動することがなく、モータの取り付けが水平、垂直のいずれでも、つれ回りしゅう動による異常発熱や異常磨耗がありません。

●ブレーキの衝撃が小さく安全

操作電磁石を励磁した時、可動子の速度エネルギーを吸収する独特の緩衝装置を設けているため、衝撃力が小さくなっています。

●ブレーキライニングが1mmになるまで使用可能

ブレーキライニングは、磨耗係数が大きく磨耗率の極めて小さい材料を使用し、厚さ3mmのものが1mmになるまで使用できるので、長時間にわたりライニングを交換する必要がありません。

標準仕様

準拠規格	【保護方式】工場電気設備防爆指針(2006)	温度上昇限度	【巻線部】75K(E), 80K(B)
	【特性】JEC 2137	爆発等級	2
形状	脚取付形およびフランジ取付形	発火度	G4
電圧	200 / 200 / 220V	軸受の種類	シールド玉軸受
周波数	50 / 60 / 60Hz	制動方式	交流励磁・ばね制動
定格	40%ED (90LJ以下), 25%ED (100LJ以上),	制動トルク	150%
耐熱クラス	E (112MJ以下), B (132SJ以上)	塗装色	マンセル記号 2.5PB5/2

(注) サージやノイズ等が発生すると考えられる場合は、サージキラーやノイズフィルター等を設置の上ご使用下さい。

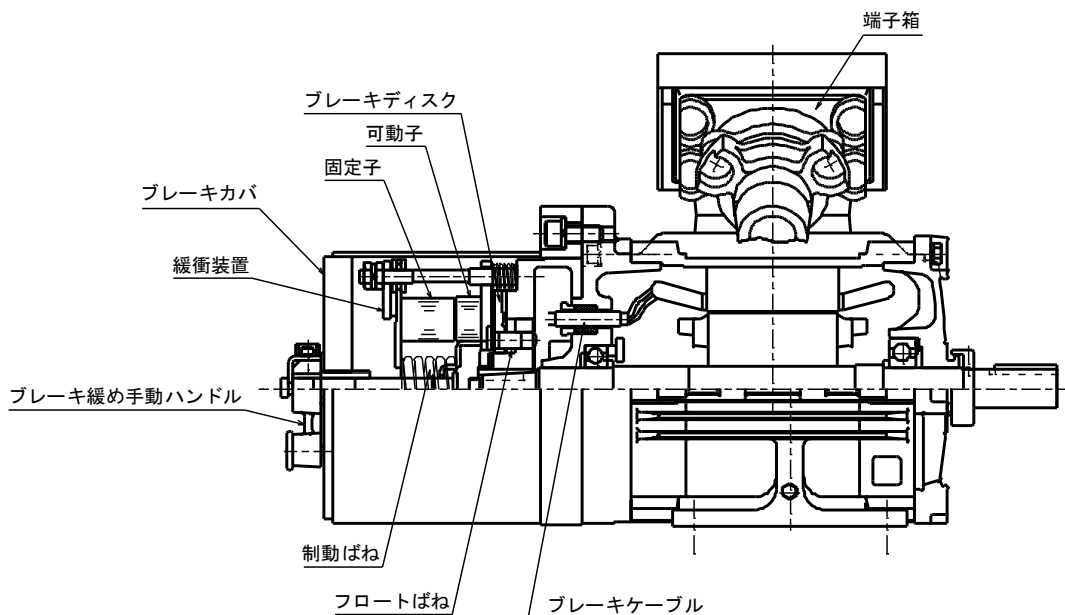
特性

極数	出力 kW	枠番号	全負荷電流 A		全負荷回転速度 min ⁻¹		ブレーキモータ 慣性モーメント J(GD ² /4) kg · m ²	ブレーキ形式	制動 トルク N · m	安検 取得
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz				
4	0.4	71MJ	2.2	1.93	1430	1710	0.0015	QBFDG-M004B	3.9	○
	0.75	80MJ	3.7	3.3	1430	1720	0.0035	QBFDG-M008B	7.8	○
	1.5	90LJ	6.8	6.1	1430	1710	0.008	QBFDG-M016B	15.7	○
	2.2	100LJ	9.7	8.9	1430	1710	0.011	QBFDG-M024B	23.5	○
	3.7	112MJ	15	14	1430	1720	0.025	QBFDG-M040B	39.2	○
	5.5	132SJ	23	21	1420	1710	0.04	QBFDG-M080B	78.4	都度照会*
	7.5	132MJ	29	28	1440	1730	0.05	QBFDG-M080B	78.4	都度照会*
	11	160MJ	40	39	1460	1750	0.10	QBFDG-M120B	117.6	都度照会
6	15	160LJ	54	52	1460	1750	0.13	QBFDG-M160B	156.8	都度照会
	0.2	71MJ	1.37	1.2	960	1150	0.0015	QBFDG-M004B	3.9	都度照会
	0.4	80MJ	2.8	2.4	960	1140	0.0033	QBFDG-M008B	7.8	都度照会
	0.75	90LJ	4.4	3.8	955	1140	0.0073	QBFDG-M016B	15.7	都度照会
	1.5	100LJ	7.6	6.9	945	1120	0.014	QBFDG-M024B	23.5	都度照会
	2.2	112MJ	10.4	9.5	960	1150	0.033	QBFDG-M040B	39.2	都度照会
	3.7	132SJ	17.2	15.4	930	1100	0.05	QBFDG-M080B	78.4	都度照会
	5.5	132MJ	26	23	970	1160	0.07	QBFDG-M080B	78.4	都度照会
	7.5	160MJ	30	28	970	1160	0.14	QBFDG-M120B	117.6	都度照会
11	160LJ	43	40	965	1160	0.17	QBFDG-M160B	156.8	都度照会	

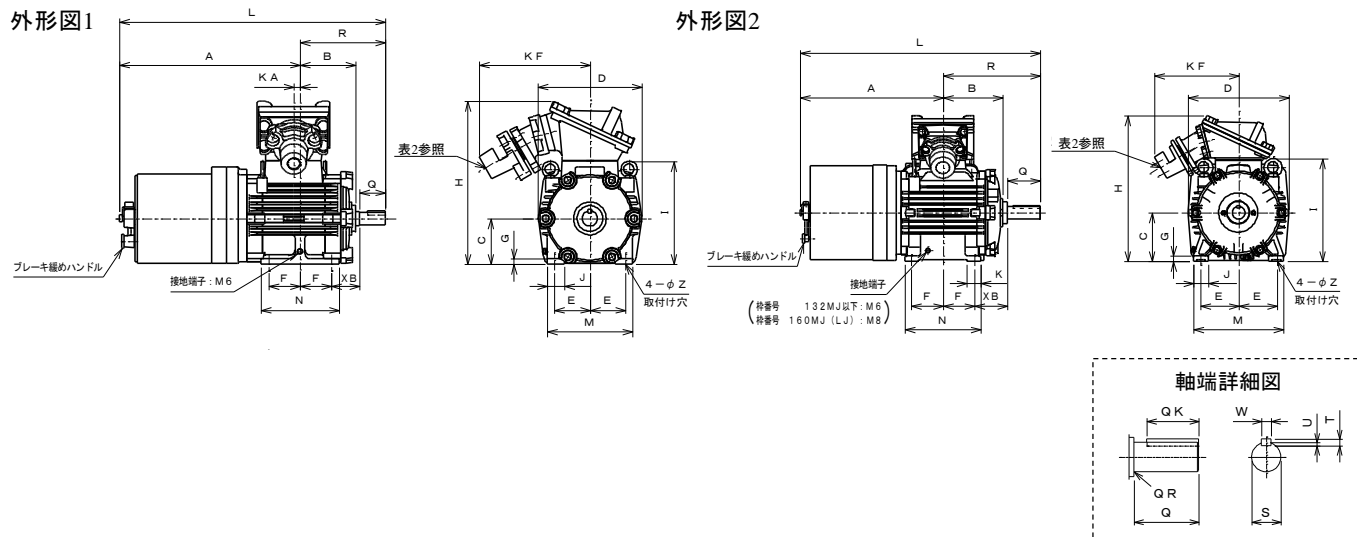
(注) *の機種については、端子箱2口 ブレーキリード別切りであれば取得がございます。

構造

据え付けや機械の調整に際しては、ブレーキカバーの後ろに付いているブレーキ緩めハンドルを回すことにより、容易にブレーキを緩めることができます。



各部主要寸法【脚取付形】



寸法諸元

寸法単位: mm

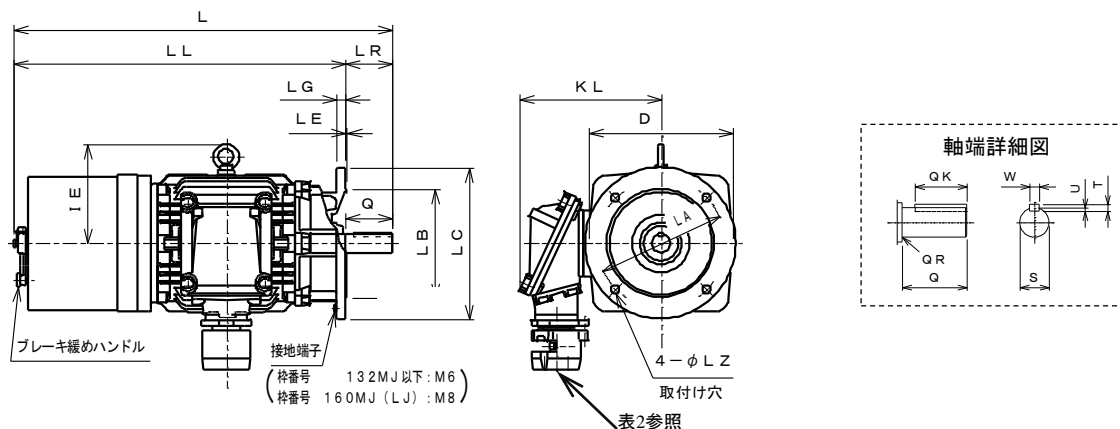
出力kW		枠番号 EGB-□	図番	A	B	C ⁰ _{-0.5}	D	E	F	G	H	I	J	K	KA	KF	L	M	N	R	XB	Z
4極	6極																					
0.4	0.2	71MJ	1	295	85	71	160	56	45	8	265	—	35	—	15	210	415	140	115	120	45	7
0.75	0.4	80MJ	1	325	95	80	180	63	50	9	300	180	35	—	15	230	465	155	126	140	50	10
1.5	0.75	90LJ	1	360	110	90	205	70	62.5	10	320	205	35	—	12.5	230	528.5	170	155	168.5	56	10
2.2	1.5	100LJ	1	370	125	100	225	80	70	12	340	230	40	—	12.5	230	563	200	170	193	63	12
3.7	2.2	112MJ	2	400	138.5	112	240	95	70	15	360	250	35	35	—	230	600	225	170	200	70	12
5.5	3.7	132SJ	2	420	155	132	275	108	70	15	430	280	45	40	—	285	659	260	170	239	89	12
7.5	5.5	132MJ	2	440	175	132	275	108	89	15	430	280	45	40	—	285	698	260	210	258	89	12
11	7.5	160MJ	2	480	206	160	320	127	105	18	485	340	50	45	—	285	803	300	250	323	108	15
15	11	160LJ	2	500	226	160	320	127	127	18	485	340	50	45	—	285	845	300	290	345	108	15

出力kW		枠番号 EGB-□	図番	軸端							軸受番号		概略 質量 kg
4極	6極			Q	QK	QR	S	T	U	W	連結側	連結反対側	
0.4	0.2	71MJ	1	30	20	0.5	14 ^{j6}	5	3	5	6203ZZ	6003ZZ	24
0.75	0.4	80MJ	1	40	25	0.5	19 ^{j6}	6	3.5	6	6205ZZ	6204ZZ	37
1.5	0.75	90LJ	1	50	35	1.2	24 ^{j6}	7	4	8	6206ZZ	6206ZZ	44
2.2	1.5	100LJ	1	60	45	1	28 ^{j6}	7	4	8	6306ZZ	6206ZZ	52
3.7	2.2	112MJ	2	60	45	0	28 ^{j6}	7	4	8	6306ZZ	6306ZZ	88
5.5	3.7	132SJ	2	80	60	0	38 ^{k6}	8	5	10	6308ZZ	6308ZZ	120
7.5	5.5	132MJ	2	80	60	0	38 ^{k6}	8	5	10	6308ZZ	6308ZZ	150
11	7.5	160MJ	2	110	90	0	42 ^{k6}	8	5	12	6309ZZ	6309ZZ	210
15	11	160LJ	2	110	90	0	42 ^{k6}	8	5	12	6309ZZ	6309ZZ	230

- (注) 1 軸端キー及びキー溝寸法は、JIS B 1301-1976「沈みキー及びキー溝」の並級によっています。キーは付属しています。
 2 軸端直径S寸法の仕上げ公差は、JIS B 0401「はめあい方式」によっています。
 3 端子箱の向きは、90度間隔で全方向に変えることができます。ただし、防爆形ですので、十分注意する必要があります。

各部主要寸法【フランジ取付形】

外形図



寸法諸元

寸法単位：mm

出力kW		枠番号 EGLB-5-□	L	LA	LB ^{j6}	LC	LE	LG	LL	LZ	LR	D	IE	KL
4極	6極													
0.4	0.2	71MJ	455	130	110	160	3.5	10	425	10	30	160	—	195
0.75	0.4	80MJ	500	165	130	200	3.5	12	460	12	40	180	130	220
1.5	0.75	90LJ	565	165	130	200	3.5	12	515	12	50	205	140	230
2.2	1.5	100LJ	600	215	180	250	4	16	540	14.5	60	225	165	240
3.7	2.2	112MJ	650	215	180	250	4	16	590	14.5	60	240	170	250
5.5	3.7	132SJ	765	265	230	300	4	20	685	14.5	80	275	200	305
7.5	5.5	132MJ	765	265	230	300	4	20	685	14.5	80	275	200	305
11	7.5	160MJ	885	300	250	350	5	20	775	18.5	110	320	235	330
15	11	160LJ	885	300	250	350	5	20	775	18.5	110	320	235	330

出力kW		枠番号 EGLB-5-□	軸端							軸受番号		概略 質量 kg
4極	6極		Q	QK	QR	S	T	U	W	連結側	連結反対側	
0.4	0.2	71MJ	30	20	2	14 ^{j6}	5	3	5	6204ZZ	6003ZZ	28
0.75	0.4	80MJ	40	25	2	19 ^{j6}	6	3.5	6	6205ZZ	6204ZZ	49
1.5	0.75	90LJ	50	35	2	24 ^{j6}	7	4	8	6206ZZ	6206ZZ	54
2.2	1.5	100LJ	60	45	2	28 ^{j6}	7	4	8	6306ZZ	6206ZZ	62
3.7	2.2	112MJ	60	45	0.5	28 ^{j6}	7	4	8	6306ZZ	6306ZZ	110
5.5	3.7	132SJ	80	60	3	38 ^{k6}	8	5	10	6308ZZ	6308ZZ	150
7.5	5.5	132MJ	80	60	3	38 ^{k6}	8	5	10	6308ZZ	6308ZZ	170
11	7.5	160MJ	110	90	1	42 ^{k6}	8	5	12	6309ZZ	6309ZZ	240
15	11	160LJ	110	90	1	42 ^{k6}	8	5	12	6309ZZ	6309ZZ	250

- (注) 1 軸端キー及びキー溝寸法は、JIS B 1301-1976「沈みキー及びキー溝」の並級によっています。キーは付属しています。
 2 フランジLB寸法及び軸端直径S寸法の仕上げ公差は、JIS B 0401「はめあい方式」によっています。
 3 端子箱の向きは、90度間隔で全方向に変えることができます。ただし、防爆形ですので、十分注意する必要があります。
 4 屋外用のフランジ面及び軸貫通部は、屋外構造になっていませんので、フランジ面及び軸貫通部に直接雨、水がかからないよう機械側で保護してください。

端子箱

表1 端子箱の適用

適用電動機の 枠番号	端子箱 形式番号	端子箱の 取付け 位置	外部導線の 端子箱への 引込み	構造
71MBJ 71MJ	KG55B-55	脚取付形 の場合 電動機の 上部 フランジ形 の場合 電動機の 側面	耐圧 パッキン式 保護管用 ねじ付き (電線サイズの 適用は表2を ご参照ください)	
80MJ 5 112MJ	KG80B-80			
132SJ 5 160LJ	KG115B-115			

(注) ケーブル径の適用を表2に示します。

表2 耐圧パッキン式保護管用ねじ付きにおけるケーブル径の適用

枠番号	厚鋼電線管		ケーブル径 A mm	(参考) 耐圧パッキン式保護管用ねじ付きの構造
	標準口径 P	呼称		
112MJ 以下	PF 3/4	22	10.3~14.2	
	PF 1	28	14.3~18.2	
	PF 1 1/4	36	18.3~22.2	
	PF 1 1/2	42	22.3~28.2	
132SJ 5 160LJ	PF 3/4	22	10.3~14.2	
	PF 1	28	14.3~18.2	
	PF 1 1/4	36	18.3~22.2	
	PF 1 1/2	42	22.3~28.2	
	PF 2	54	28.3~36.2	

■ご指定事項 —ご注文の際は、次の事項をご指定ください。—

- ・用途
- ・形式
- ・定格 : 電圧, 周波数, 出力, 極数, 負荷時間率 (%)
- ・始動法 : じか入れ始動, 減電圧始動
- ・連結方式 : カップリング直結, ベルト連結
- ・スライドベースの要, 不要
- ・ご使用ケーブルの種類, サイズ
- ・設置場所: 屋内, 屋外
- ・負荷の慣性モーメント
- ・爆発性ガスの種類, 使用場所の危険度
- ・最高周囲温度
- ・負荷特性
- ・その他特記事項

ベルト連結の場合は、電動機側プーリの直径・幅・質量、機械側プーリの直径、プーリ中心間距離、ベルトの種類・本数、ベルトの張り方向、ベルト張力等